

京急グループ共通で取り組むKPI「E：環境」事例ごとの目標内容

ESG	テーマ	施策	対象	行動項目	目標	達成年度	2022年度実績
E	温室効果ガス削減	駅施設における環境負荷軽減	京急電鉄	駅等における照明設備のLED化 (鉄道本部 施設部)	100%	2035	26駅/72駅 (整備率 36%)
		環境配慮型バス(水素バス・電気バス)の導入拡大	京急バス	環境配慮型バス(水素バス・電気バス)の導入拡大	10両導入	2035	4両/10両 (導入率 40%)
		太陽光発電事業の継続・発展	川崎鶴見臨港バス	営業所新設時に太陽光発電設備設置	営業所建替の際に新規設置	新築時	本年度該当なし
		グリーン電力システム等を効果的に活用した賃貸ビルの運営	京急電鉄	エネルギー使用量の削減	対前年度比1%削減	2024	3%削減 (対前年度比)
		再生可能エネルギーの導入 (京急グループ本社ビル)	京急電鉄	CO2フリー電力への切り替え (水力発電への電力契約変更)	再生可能エネルギーの導入	2035	再生可能エネルギー(水力発電由来の電力)の導入 ※2021年度～
	環境保全	プラスチックごみの削減	京急ストア	エコバックの販売や啓発活動の実施	レジ袋辞退率90%	2035	辞退率 80%
			京急ストア	環境配慮食品トレーの導入	導入率100%	2035	導入率 35%
			京急百貨店	プラスチック製お買い物袋の環境負荷低減	プラスチック製お買い物袋の発注量 対2019年度比50%削減	2023	プラスチック製お買い物袋の発注量 対2019年度比86.7%削減
			市原京急 カントリークラブ	脱衣所のビニール袋を廃止	100%	2022	2023年度から脱衣所のビニール袋を バイオマス素材配合に変更
			長野京急 カントリークラブ	ビニール製品の使用削減	配布ゼロ	2023	浴場脱衣所のビニール袋の配布ゼロ (ペンシル・マーカ―等サービス品については今後検討)
			京急電鉄	京急プレミアムポイントカードによる プラスチックの使用枚数	0枚	2025	ポイントカードを必要としない サービスの導入に向け検討推進中
		廃棄物の削減	京急ロイヤルフーズ	食材廃棄(ロス)率の低減	食材廃棄(ロス)率5%以内	2035	食材廃棄率 1.78%
			京急ストア	資源使用量削減の啓発 廃棄物排出量削減の啓発	2020年度比5%削減	2035	紙使用量：7%削減(対2020年度比) 水使用量：3%増加(対2020年度比) 廃棄物：8%削減(対2020年度比)
			資源の持続可能性(紙類)	京急電鉄	一般廃棄物(紙類)の削減 (鉄道本部 車両部)	一般廃棄物(紙類) 2020年度比5%削減	2035 (毎年継続)

京急グループ共通で取り組むKPI「E：環境」事例ごとの目標内容

ESG	テーマ	施策	対象	行動項目	目標	達成年度	2022年度実績
E	環境保全	ペーパーレス化推進	京急システム	帳票類の見直しや会議のペーパーレス化	2019年度比15%削減	2035	32%削減 (対2019年度比)
			京急バス	印刷物の削減, 文書・資料の電子化	2020年度比30%削減	2023	2%削減 (対2020年度比)
			京急保険サービス	OA用紙の使用削減	2020年度比20%削減	2035	20%削減 (対2020年度比)
			京急建設	OA用紙の使用削減	対前年度比1%削減	2023 (毎年継続)	5%増加 (対前年度比)
			京急ビジネス	明細書および伝票の電子化	1,025,000枚削減	2022	132,500枚削減 (12.9%削減)
			Rバンク	OA用紙の使用削減	対前年度比1%削減	2035 (毎年継続)	29%増加 (対前年度比)
			京急リプロ	電子化に伴う紙使用量の削減	2020年度比70%削減	2035	16%増加 (対2020年度比)
			葉山マリーナ	OA用紙の使用量削減	対前年度比3%削減	2023 (毎年継続)	23%削減 (対前年度比)
			京急イーエックスイン	自動チェックイン機導入店舗における宿泊カード等の廃止	2020年度比20%削減	2023	17%削減 (対2020年度比)
			京急開発	ペーパーレス化・リサイクルの推進 (個別ゴミ箱の廃止)	前年比3%削減	2023 (毎年継続)	3.9%削減 (対前年度比)

京急グループ共通で取り組むKPI「S：社会」事例ごとの目標内容

ESG	テーマ	施策	対象	行動項目	目標	達成年度	2022年度実績
S	ダイバーシティの推進	女性活躍の推進	京急電鉄	女性活躍推進の具体的施策の実施	女性管理職比率10%以上	2025	女性管理職比率 5.7%
			京急バス	管理職割合	女性管理職比率20%以上	2035	女性管理職比率 6%
			京急自動車学校	管理職数	女性管理職3名以上	2035	1名
			京急保険サービス	管理職数	女性管理職1名以上	2035	0名
			Rバンク	女性の登用, 活躍促進	女性管理職比率80%	2035	女性管理職比率 70%
			京急イーエックスイン	管理職割合	女性管理職比率30%以上	2035	女性管理職比率 15%
			京急ビルマネジメント	管理職割合	女性管理職比率10%以上	2035	女性管理職比率 21%
			京急開発	管理職割合	女性管理職比率30%以上	2035	女性管理職比率 27%
			鴨居自動車学校	女性指導員の育成	女性社員を10名まで増員	2035	2022年度増員なし
			川崎鶴見臨港バス	女性従業員採用増加に向けた取り組み	女性従業員比率20%	2035	女性従業員比率 4.3%
		ワークスタイルの変化への対応 (育児・介護社員活躍の実現)	京急電鉄	育児・介護制度の周知施策の実施	男性育児休業取得率100% 管理職層の介護セミナー参加率100%	2025	男性社員育児休業取得率 63.3% 介護セミナー 本年度未実施
		男性育児休暇取得促進	京急イーエックスイン	当該社員の育成休暇取得の促進	男性育児休暇取得率50%	2023	男性社員育児休暇取得率 100%
			京急バス	制度の見直し, 適正な要員配置の検討	男性育児休業取得率30%以上	2023	男性社員育児休業取得率 76%
			京急ビジネス	啓発・職場環境整備・制度的支援	男性育児休業取得率100%	2035	男性社員育児休業取得率 100%
京急電機	当該社員の育成休暇取得の促進		男性育児休業取得率100%	2025	男性社員育児休業取得率 0%		

京急グループ共通で取り組むKPI「S：社会」事例ごとの目標内容

ESG	テーマ	施策	対象	行動項目	目標	達成年度	2022年度実績
S	ES（従業員満足度）の向上	ワークライフバランスの向上	京急イーエックスイン	地域限定社員の導入	5名以上	2035	7名
			京急イーエックスイン	短時間労働者の活用	10名以上	2035	10名
			京急ストア	有給休暇取得の啓発	取得率100%	2035	有給休暇取得率 45%
			京急ロイヤルフーズ	ワークシェアの推進	平均残業時間15時間/月	2035	27時間/月
			京急不動産	テレワークの環境整備率(本社)	本社における整備率80%	2023	整備率80% (達成率100%) ※2021年度に達成
			京急ビルマネジメント	有給休暇取得率の向上	取得率50%以上	2035	有給休暇取得率 64%
			京急バス	有給休暇取得の促進	取得率90%以上	2023	有給休暇取得率 82%
		ワークスタイルの変化への対応 (健康経営の実現)	京急電鉄	社員の健康増進と健康経営の実現	健康優良法人(ホワイト500)の認定	2022	認定に向けて推進中 ※2023年2月に「健康経営宣言」を発出
		エンゲージメントサーベイや京急ismの さらなる浸透策の実施	京急電鉄	エンゲージメントサーベイの実施	1回以上/年	2023	1回/年 (実施率 100%)
		ES向上による生産性のアップ	三崎観光	経営層へのマネジメント教育の実施	2回/年	2035	1回/年 (実施率 50%)
		労働安全衛生の確保	京急ストア	普通救命講習受講者の店舗配置	全店舗への配置	2035	44店舗/47店舗 (配置率 93%)
			三崎観光	重大な怪我および労働災害への対応	重大な怪我・労働災害0件	2023	0件
			京急開発	労働災害やメンタルヘルス講習の実施	1回/年	2023	1回/年 (実施率 100%)
			京急バイワークス (旧：平和島整備)	安全意識の向上および作業中の 安全確認の徹底	労働災害0件	2035 (毎年継続)	3件

京急グループ共通で取り組むKPI「S：社会」事例ごとの目標内容

ESG	テーマ	施策	対象	行動項目	目標	達成年度	2022年度実績
S	ES（従業員満足度）の向上	サプライヤーを含めた労働災害防止	京急電機	サプライヤーの安全教育	1回/年	2023	1回/年 (実施率 100%)
			京急電機	各セクションに沿った安全教育や情報共有	2回/年	2023	2回/年 (実施率 100%)
			京急電機	現場安全巡視の実施	12回/年	2023	12回/年 (実施率 100%)
			京急電機	安全衛生意識向上に向けた講習の実施	1回/年(全社員対象)	2023	0回/年 (実施率 0%)
		事故・災害ゼロ	葉山マリーナ	安全パトロールの実施	12回以上/年	2023	12回/年 (実施率 100%)
			京急建設	現場安全巡視の徹底	400回/年	2023	317回/年 (実施率 79%)
			京急建設	安全衛生教育(安全講習会)の実施	3回/年	2023	0回/年 (実施率 0%)
			京急建設	事故・災害の実績を考慮した協力会社の評価	1回以上/年 (施工部門からのヒアリング)	2023	1回/年 (実施率 100%)
			京急バス	安全講習会の受講率(全社員)	受講率100% (全社員対象)	2023	受講率 92%
			京急サービス	安全表彰や労災事故報告を活用した社内周知による安全意識の向上	1回/年	2023 (毎年継続)	1回/年 (実施率 100%)

京急グループ共通で取り組むKPI 事例ごとの目標内容

テーマ	施策	対象	行動項目	目標	達成年度	2022年度実績
MaaS推進	公共交通・オンデマンド型乗合交通・レンタサイクル等の利用によるモーダルシフトの促進	京急電鉄	AIバスの運行 (交通空白地・乗合バスの補完)	実証実験による課題抽出と 社会実装	2023	2022年度は未実施
	移動弱者をサポートする Universal MaaSの推進	京急電鉄	Universal MaaS アプリの検討	実証実験による課題抽出と 社会実装	2023	実証実験における施設情報の提供 (羽田空港第1・第2ターミナル駅) 「バリアフリー地図/ナビ」のルート更新にともなう施設情報の提供 (久里浜エリア)
	交通事業と不動産事業との連携強化による 「MaaS版沿線まちづくり」への拡大	京急電鉄	観光型MaaSとしての機能実装 三浦半島における地域連携強化・エリアマネジメントの推進	MaaSレベル2相当サービス導入	2023	MaaSレベル3相当サービス (提供するサービスの統合) の導入 (パッケージ化やサブスクなど)
	三浦半島の多様な2次交通や混雑情報の連携による 効率的な回遊基盤の整備	京急電鉄	回遊性向上に向けた2次交通の整備・連携	2次交通の整備・連携	2023	電動キックボード、BEVレンタカー等の モビリティ基盤整備を推進 (計30拠点)
地域連携活動	地域と連携した社会貢献活動への参加	京急サービス	清掃活動への参加	4回以上/年	2023	7回/年 (実施率 175%)
	沿線街づくり活性化策の推進	京急電鉄	地域交通サービスの維持・向上に向けた「とみおかーと」の 実装	サービス開始	2023	実証実験において課題を抽出し、実装に向けて推進
	地域貢献に資する活動	京急自動車学校	小中学生向け交通安全講習会の開催	2回/年	2023	0回/年 (実施率 0%)